



産官学連携の “アカデミックな ダイビング” で、SDGsにも貢献！

石垣島の水中文化遺産をガイド・インストラクターとめぐる

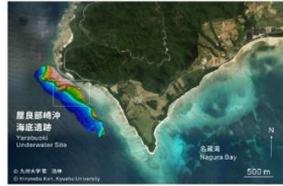
屋良部沖海底遺跡スペシャルティダイバーコースを開設しました

- 石垣島の貴重な資源を未来へ繋げるために、産官学が連携した特別なダイビング体験『石垣島屋良部沖海底遺跡 セレクトッドスペシャルティダイバーコース』を開設しました。
- 九州大学大学院浅海底フロンティア研究センターと石垣市教育委員会、また地元ダイビングサービス2店の連携により、レジャーダイビングに訪れた人たちに、美しい海を楽しみながら、琉球王国の歴史を学んでもらうプログラムです。
- 産官学が連携し、地元の海洋資源である水中文化遺産を地元の力で活用しながら継承していき、その保護に力を注ぎながら、SDGsに貢献します。産官学が連携したこのような試みは日本で初めてとなります。

屋良部沖海底遺跡は、海洋国家琉球王国(15～19世紀)の繁栄を象徴する遺跡です。海底には沖縄島で焼かれた壺屋焼きの壺を積んだ沈没船が眠っており、その周辺には船の停泊具である四爪鉄鉤がたくさん沈んでいます。ここには、歴史的文献に書かれたことが海底にまさに物証として残され、今でも見学することができます。



©沖縄県立埋蔵文化財センター



©九州大学 菅 浩伸



動画(5' 07")
海底の遺跡や潜水調査の様子をご覧ください

九州大学大学院浅海底フロンティア研究センターは、この石垣島屋良部沖の海底遺跡の調査研究を行っており、この研究成果を地元で活用する取り組みとして、石垣市教育委員会及び地元ダイビングサービス2店と協力し、ダイビング体験コース「屋良部沖海底遺跡スペシャルティダイバーコース」を2022年3月1日に開設しました。

レジャーダイビングに訪れた人たちは、研究者が作成した専用教材を使用して水中考古学のトレーニングを受けた地元のガイド・インストラクターから、この海底遺跡の歴史についての講習を受けることができます。水中文化遺産の価値を理解したダイビングサービスがダイビングを継続的にを行い、遺跡のモニタリングやその保護に力を注ぐことができます。

九州大学大学院浅海底フロンティア研究センターでは、沖縄の海の文化遺産をアカデミックなダイビングとして学び楽しむコースを「Okinawa Underwater Archaeological Heritage Specialty Diver」シリーズとして、持続可能な水中遺跡の教育普及のために展開していく予定です。今回の屋良部沖海底遺跡のコースは記念すべき第一弾となります。

コースの詳細などは下記のホームページをご覧ください。

https://isgs.kyushu-u.ac.jp/~seafloor/yarabu_divercourse/

【お問い合わせ】九州大学大学院 比較社会文化研究院附属 浅海底フロンティア研究センター

教授:菅 浩伸、共同研究者:中西 裕見子、広報:松尾 香那

Mail:seafloor@scs.kyushu-u.ac.jp TEL:092-802-5646

HP:https://isgs.kyushu-u.ac.jp/~seafloor/yarabu_divercourse/

屋良部沖海底遺跡スペシャルティダイバーコース

◆ 屋良部沖海底遺跡とは

屋良部沖海底遺跡は、海洋国家琉球王国(15～19世紀)の繁栄を象徴する遺跡です。**海底には沈没船が眠っており、周辺に船の停泊具である四爪鉄錨がたくさん沈んでいます。**その数や分布位置から複数の船に由来することがわかり、たくさんの船がここで停泊し、風待ちをしたり嵐にあったりしていた様子がかがえます。

その事実を裏付けるように、この海域は琉球王国時代の重要な航路にあたることが古絵図や古文書からわかっており、**中国を往来した進貢船が沈没したり、避難港として船が碇泊したり、**という記録が残されています。

◆ 屋良部沖海底遺跡スペシャルティダイバーコースとは

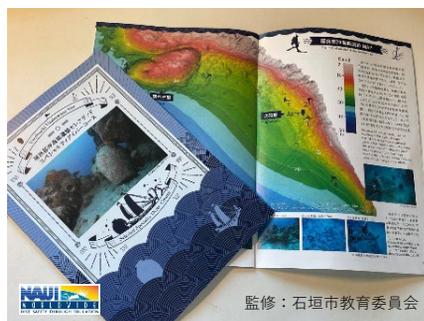
この遺跡には、歴史的な文献に書かれたことが**海底にまさに物証として残され、今でも見学することができます。**「屋良部沖海底遺跡スペシャルティダイバーコース」は、レジャーダイビングに訪れた人たちにも、海の底に残されたこの歴史の中の出来事を現地で実見し、体感し、琉球王国の歴史を学んでもらおうというプログラムです。



撮影：山本 遊児

水中考古学のトレーニングを受けた地元ダイビングサービスのガイド・インストラクターから、研究者による科学的裏付けをもとにした**専用教材**に沿って海底遺跡の詳しい歴史の講習を受けることができます。海洋実習では、講習で学んだ海底遺跡を実際に目の当たりに体験することができ、自然を観察するダイビングとは違う**人類の文化遺産を見学するダイビングの仕方**などについても学ぶことができます。充実した1日を過ごしつつ修了できるプログラムになっており、**非売品の専用教材**は1人1冊ずつお持ち帰りいただけます。コース修了者には、**特別な講習を学び、体験した証となるオリジナルライセンスカードが発行**されます。

受講者だけが手にできるコース専用教材
(非売品)



監修：石垣市教育委員会

コース終了の証となる
オリジナルライセンスカード



←ウェイクアップコール

サーフダイブ↓

2014年から
しっかり時間をかけて、
地元の皆さんと
つくりあげてきました！



中西 裕見子

©九州大学大学院 浅海底フロンティア研究センター

- コースを提供する石垣市のダイビングサービス2店
 - ・サーフダイブ <http://surf-dive.net/>
 - ・ウェイクアップコール <http://wakeupcall.la.coocan.jp/>
- 協力：株式会社ナウイエンタープライズ NAUI ENTERPRISES Co.,Ltd. (民間潜水教育団体)

屋良部沖海底遺跡スペシャルティダイバーコース

◆ なぜスペシャルティコースなのか？

スペシャルティダイバーコースの設立には3つのメリットがあります！

1. 持続可能な仕組み <SDG s の視点>

島の未来のために、水中文化遺産の価値を理解し、その保護に力を注ぐダイビングサービスが、ゲストダイバーと共に継続的に遺跡周辺の潜水をすることで産業として成り立ち、**官が特別な予算（税金的負担）をかけずに遺跡の現状や変化をモニタリングすることができます。**コースを設立したことにより、ガイド・インストラクターがゲストダイバーを連れて遺跡を見学する機会が増加することを期待しています。



2. 最新の研究成果にいつでもアクセスできる

遺跡について学びたいときに、**教材やガイド・インストラクターを通じていつでも情報にアクセス**できます。興味があるけど何だかわからない、どこに聞けば良いのか何を調べれば良いのかかわからない、という、残念な状況がなくなります。また、詳しく学んだ上でダイビングをすることで、屋良部沖海底遺跡でのダイビングが楽しい一過性の出来事ではなく、何度ダイビングしても楽しい場所になります。学習素材に溢れ、繰り返しダイビングするたびに、違った発見があるからです。

3. キャパシティ・ビルディング（人材育成）

スペシャルティコースの受講を通じて、琉球王国の歴史を学び、水中文化遺産の保護に理解のあるレジャーダイバーが増え、サポーターが増えます。繰り返しコースを提供することを通じて、地元ダイビングサービスの水中文化遺産に対する理解もさらに深まり、**利用する当事者として、さまざまな気づきや責任感が生まれます。**

◆ 屋良部沖海底遺跡での産官学連携プロジェクトとは

今回のプロジェクトは、**産官学が連携し、地元の海洋資源である水中文化遺産を地元の力で、活用しながら継承する取り組み**です。屋良部沖海底遺跡を大切に守りながらも多くの人に琉球王国の歴史を学んで楽しんでもらえる仕組みを作りました。プロジェクトの目的は次の2点です。

1. 正確な情報、遺跡の価値の普及

大学や博物館、教育委員会など研究組織の専門家による長年の調査研究に基づいた**科学的・学術的に正しい情報、正しい遺跡の価値を根幹にした水中文化遺産活用**をめざして取り組んできました。真偽のわからない情報しか得られず、事前情報が不足したままのダイビングでは十分に屋良部沖海底遺跡を活用したことにはなりません。その結果、2014年から調査に取り組んできた成果をフル活用したプログラムができました。今後も水中文化遺産を地元で活用し続けることができる仕組みです。

2. 一緒に創り、一緒に成長する

調査段階から地元のダイビングサービスと協力し、研究成果についても情報共有を行ってきました。見学手法や教材の作成についても、**実験段階から話し合いを繰り返し、一緒に取り組んできました。**コースができるまでの段階では、考古学者がダイビングインストラクターに遺跡の歴史について講習を重ねてきましたが、今度はガイド・インストラクターたちが一般レジャーダイバーに講習して教える側になりました。講習やガイドを重ねることで、**遺跡の周りの人たちみんなが、貴重な水中文化遺産を利用する当事者になって、一緒に成長してきました。**これからも成長し続けます。

この目的を実現させたプログラムが今回出来上がり、始動しました！